



児童養護施設 合掌苑 〒501-4101 岐阜県郡上市美並町上田 674

電話 0575-79-2914

FAX 0575-79-3584

## 「合掌苑としての関わり」

合掌苑苑長 成澤 武史

平成28年度が始まり、今年も暑い夏が終わろうとしています。今年度もまた新しいお子さんも入所し、同時に家庭復帰していった子ども達、里親家庭にマッチングを行って移行した子ども、みんな元気に生活してくれている事に喜びと感謝を感じ、それぞれが幸せな暮らしを送ってほしいなと祈っています。

近年アフターケアの重要性が叫ばれておりますが、合掌苑にも大きく分けて三つのアフターケア担当者がいます。1つは家庭復帰、家族の状態・関係の回復によって引き取られるケースです。ファミリーソーシャルワーカー(FSW)が担当します。

2つ目は、里親家庭への移行ケース。里親さんの開拓・調査から適正、相性を判断し、丁寧にマッチングを行い、生活を移行していきます。その後も里親家庭を支える、里親支援専門相談員。

3つ目は、苑から自立をしていく子を担うケース。実は入所した子の大半かもしれません。18歳で自立した子は、仕事も生活も自分でしていかなければなりません。当然家族からのサポートも弱い子どもが多く、仕事や生活に行き詰まる子が少なくありません。時には太く、細く長い支援が求められます。全国的には自立支援員という職員の配置を求められていますが、苑では今年度から職業指導員を配置し、仕事のみならず卒苑生の継続的なサポートを行う体制づくりを始めました。

私自身がアフターケアを行っているケースにおいても、卒苑生がそれぞれ結婚や出産の報告をしてくれたり、結婚式への参列をさせてくれたりもしました。苑を出て、自立し新たな家庭を築いてくれたことを大変嬉しく思いながら話を聞いています。就職においても新社会人になった子、卒苑して大分経つ子もそれぞれ相談に乗ったり、場合によっては職場や家庭と相談に出向いたりしています。落ち着いている子もそうでない子も、関わりのあった子ども達とその後も関わり続ける「ホーム」として合掌苑はあり続け、その時その時に関わった職員がいる苑にしたいと思います。

今年、来年と社会福祉法人の制度改革、児童福祉法の改正が成されました。児童の権利が保障され、社会福祉法人の在り方など大きな変革があったわけですが、児童養護施設合掌苑の在り方、養育の営みは、これまでもこれからも、子ども達を中心に愛していく姿勢に変化は必要ないのだと思います。

皆様のご理解とご支援に感謝し、また今後ともよろしくお願い致します。



合掌苑で畑を作り、収穫した夏野菜たちです。立派な野菜がたくさんとれました。

## 先生に聞いてみました！

合掌苑の先生は普段どんなお仕事をしているの？どんな苦勞があるの？そんな素朴な疑問や興味にお答えしようと思い、心理士兼調査員の田口がインタビューをしてみようというコーナーです。第3回は図書学用品係のリーダー 末松先生にお話を伺いました。

田口 お忙しいところありがとうございます！今日は図書学用品係について伺いたいと思います！よろしくお願いします！

末松 はい、よろしくお願いします！

田口 早速ですが図書学用品係はどのようなことをする係ですか？

末松 えー、学用品の購入や管理に始まり、苑内のプールの管理、靴類の管理、靴箱の管理、桜宮公園の遊具管理、傘の管理に写真の現像と…

田口 え、えっと、学用品と、靴と…

末松 ふふふ(笑) 幅広いんですよ。

田口 本当に幅広いですね。たくさんある中で、メインになる内容ってありますか？

末松 やっぱり、普段使いの多い、靴・学用品（鉛筆や消しゴム、ノートなど）の管理と、最近だとプールの管理がメインかな。どちらも、毎日様子が変わっていくものだから、細かいチェックが必要になりますね。

田口 靴類・学用品の管理などってというのは、子どもたちの生活に直結していて、子どもたちを陰ながら支えているという印象です。

末松 そうですね。密着しているからサボれないですね(笑)

田口 サボってないおかげで合掌苑がまわっていると思います(笑)そんなサボれないなかでも、

特に大変なことは何ですか？

末松 内容の幅の広さが関係してくるんですけど、苑内の小物ではなく、地域の人も使う桜宮という公園の遊具管理ですね。

田口 どういったところで大変さを感じますか？

末松 合掌苑だけでなく地域の人も使うということを考えると、公園を守ることの重要さを強く感じますからね。やりがいとプレッシャーの両方があります。

田口 公園の遊具でケガをして問題になるなんていうニュースを、最近よく聞きますし、シビアな問題ですね。公園の遊具管理というところで、合掌苑の地域との関わりも担っているといっても過言ではないですね。

末松 そこまで言われるほどのことでは…(笑)でも、子ども会や近所の方など地域の方のご協力もあって公園が維持されているので、苑としてもできることはやらねばと思っています。

田口 ありがとうございます。子どもの生活と地域の生活に密着した係仕事があることが分かりました。最後に、係仕事の様子が分かる写真が欲しいなーと思うんですが…(笑)

末松 ええ！？うーん…じゃあ、靴関係で玄関の様子とかは？最近ちょっとずつ下駄箱などを変えて綺麗にしているの…

今回は末松先生にお話を伺いました。責任をもって、子どもの学校生活や日常生活、苑の地域との関係まで考えている姿が印象的でした。ご協力ありがとうございました。



合掌苑 正面玄関

# 平成 28 年前期 合掌苑行事



## 15日 第26回がらくた市

今年是一日中天気も良く、多くの地域の方にご来場していただきました。例年通り移動動物園にも来ていただき、小さな子ども連れの方たちにも楽しんでいただけたと思います。遊戯室での催し物には、合掌苑児童によるダンスがあり、地域の方々や学校の先生にも見てもらい苑児達はとても満足していました。他にも地域の方の協力でギターやオカリナ演奏、美並太鼓を披露していただきました。マジックショーでは驚きの連続。間近で迫力のあるショーを見ることができて大人も子どもも大興奮でした。今年もボランティアの方々を含め、多くの方の協力によりがらくた市の開催ができました。ありがとうございました。次回からも来ていただいた方に楽しんでいただけるよう企画していきますのでよろしくお願いいたします。



## 19日 Let's バイキング

昨年度から始まったこの新しい行事を今年も開催しました。昨年度は子供たちや職員からの評判がよく、ぜひまたやりたいとの声があがったので開催です。今年も、各担当で子どもと職員が協力し様々な料理を作りました。作っているときの子どもたちの真剣な表情が印象的でした。福祉館は唐揚げと焼きそば、かやの実館は手巻き寿司と大根ピザ、本館はサラダ、たこ焼き、クレープ、フルーツポンチを作り、食堂でみんなが集まり一緒に食べました。それぞれが作った料理に「おいしい」「上手」と声をかけあい、とても和やかで素敵な雰囲気の時間になりました。



## 3日 北師会

今年も北師会の方に来苑いただき、苑庭で流しそうめんを行いました。北師会の方には釣ったばかりの鮎を振舞っていただき、子どもたちも大喜び！目の前で焼きあがる鮎を今か今かと待っている姿や、部活に行っていた子どもたちが鮎食べたさに猛ダッシュで苑に帰ってくる姿が見られました。大きなザルいっぱいにあったそうめんもあっという間になくなり、おなか一杯の子どもたちの笑顔がたくさん見られてよかったです。最後にはメロンのデザートもいただき、おなかいっぱいのはずなのに大きな口でおいしい！とかぶりついていました。苑庭には笑い声が響き渡り、夏の行事のいいスタートが切れよかったです。楽しい夏の思い出をありがとうございました。





### 9日 滝茶屋流しそうめん招待



今年も釜ヶ滝滝茶屋に招待していただきました。すぐ隣では川が流れ、猛暑をひと時忘れられる最高のロケーションの中、まずはマス釣りを体験させていただきました。釣ってすぐに食べさせてもらえる、とても贅沢な体験です。小さい子も大きな子も釣れると喜び、焼きたてのマスにかぶりついていました。さらに流しそうめんもお腹がいっぱいになるまでおかわりします。流れてくる度に「来た！」と喜びの声を上げながら、みんな笑顔の食事になりました。帰り際にお菓子のお土産までいただき、貴重な体験と、おいしい食事と、毎年のご招待に子どもも職員もありがたいの気持ちでいっぱいになりました。

### 25日～26日 グループ旅行（かやのみ館）

かやのみ館グループは、一泊二日で石川県能登千里浜の休暇村へ行ってきました。

一日目、石川へ向かう前にラフティングを体験。初めての子が多かったのですが、どの子も「もう一回やりたい！」ととても楽しそうな様子でした。その後、昼食を食べて休暇村へ移動し、バーベキュー・花火をやり、夜は初めてのテントで宿泊。雨が降り、子ども達は雨の音で眠れなかった様子でしたが、初めての経験がたくさんできた一日目になりました。二日目は念願の能登島水族館へ行き、午後はサンドブラスト体験でコップやお皿に砂で絵付けをしました。みんな真剣に絵やデザインを考え、世界で一つだけの作品が完成しました。帰りは白鳥で温泉に入り、帰苑。楽しくてあっという間に過ぎた二日間になりました。



### 28日～29日 グループ旅行（本館A担当）

A担当（幼児～小学校低学年）は福井県三国町に行ってきました。一日目はお昼にBBQをして海に行きました。浮島まで何度も往復したり、魚を探したりとおやつのことまで忘れて時間一杯海を満喫しました。二日目は越前松島水族館に行きました。ふれあい体験では、怖がりつつも楽しそうに亀に餌をあげたり、サメやエイに触ったりしました。イルカショーでは、イルカがジャンプした際にはみんな歓声をあげ、夢中になって見入っていました。午後から小学生はろうけつ染めの一日体験に行き、世界に一つの自分だけのハンカチを作りました。



作業中はみんな集中して取り組み、それぞれの個性がでた素敵なハンカチを作ることができました。二日間とも内容が盛り沢山でとても充実した旅行でした。



### 1日～2日 グループ旅行（福祉館）

福祉館グループは伊良湖岬へ行ってきました。前日までの天気予報では雨の心配もありましたが、見事に晴れて海水浴、BBQとみんなでも楽しむことができました。海水浴では職員とともに遠くまで泳ぎに行ったり、砂浜で体を埋められたり、みんなのとても楽しそうな顔がみられました。BBQでは高校生が炭を上手におこし、焼き奉行をしてくれました！夜は持ってきた大量の花火でしたが、あっという間に無くなりました。

2日目には、みんなで釣りをしました。釣りの成果は…0匹。みんな暑さでやめていく中、1人だけは職員と最後までチャレンジしていましたが、惜しくも釣ることはできませんでした。その頑張りに、またチャンスを作ってあげたいと思いました。最後まで大きなトラブルや事故・ケガもなく子どもも職員も楽しむことができました。



### 6日～7日 三日里親

今年も県の三日里親事業が実施されました。35回目になります。岐阜県下で今年、82世帯の参加があり施設の子98人がお世話になりました。合掌苑では、6世帯へ8人の子がお世話になりました。

帰ってきた子どもたちからは、BBQをしたり花火に出かけたり、水族館に行ったり家で里親さん家族と遊んだり、とそれぞれがそれぞれの里親さんのお宅での思い出を楽しそうに語ってくれました。

施設では家庭のような少数単位で大人と動ける機会も少ないため、里親さん宅での家庭生活体験は有意義なことと思います。ありがとうございました。今後とも、三日里親やショート里親の皆さまにはよろしくお願い申し上げます。



### 9日～10日 B担当旅行

B担当は静岡県浜松市に行ってきました。一日目はヤナで鮎のつかみ取りをしました。みんな初めての体験で、逃げる鮎を必死で追いかけてました。そのあと川遊びをし、今日の最終目的地であるキャンプ場へ移動しました。奥浜名湖の山々に囲まれた自然豊かなキャンプ場で、BBQをしました。男子は火おこし、女子は買い出しに行き、それぞれが自分たちの役割を一生懸命にやり遂げました。お腹いっぱいになったら、花火をしてコテージに泊まりました。二日目は浜名湖パルパルに行きました。ジェットコースターや、巨大ブランコ、ゴーカートと、子ども達は大忙しでした。帰りの車内では、よっぽど疲れたのかみんな熟睡していました。二日間天気にも恵まれ、充実した旅行を送ることができました。





## 「温かい心」 (平成 28 年 4 月～平成 28 年 7 月)

合掌苑の苑児たちに沢山の方々から、温かいご支援を賜りました。略儀ながら紙面にお名前を掲載して御礼の言葉にかえさせていただきます。ありがとうございました。

浅井 文雄	安養寺	飯沼 麻奈美	池戸 義雄	井澤陶器(株)	石田 秀夫
石田 英紀	井亦 照美	江崎 建詔	江間 庄一	小椋 庸行	織部(株)
加藤 賢一	加藤 大貴	加藤 隆政	金子 典正	カネコ小島陶器	蒲 得雄
釜ヶ滝 滝茶屋	川島 義弘	木村 武文 幸奈	郡上市子育て支援センター		国田 裕子
熊田 恵子	桑原 健	桑原 誠	幸兵衛	小林 真由美	左谷野 政和
澤原 志のぶ	澤村 則男	慈恵中央病院	親切会 中部支部	曾我 真理子	大容スポーツ
高橋 芳男	土屋 早織	浪岡 育子	西村 敏行	二宮 春美	野村 幸子
畑佐 和昭	ピセ(株)	福手 法文	藤芳 猛志	古川 せい子	古川 篤仙
古田 純俊	前畑(株)	松井 優幸	松尾 栄	松森 久子	丸東(株)
宮嶋 友紀	村瀬 成彦	矢野 久尋	山松マツダ陶器	山家 あゆり	渡邊 義明
(株)一松精肉店	(株)ショクブン	(株)高垣組	(株)チュチュアンナ	(有)横山建材	

★勝手ながら敬称を省略させていただきました。万一誤表記、掲載漏れがございましたら、なにとぞご容赦願います。



## < 後援会「友の会」について >

- ・親と一緒に暮らせない子どもであるからこそ、豊かな生活・豊かな環境が保障されなければなりません。この為にも合掌苑では後援会組織「友の会」を結成しております。
- ・会費 3, 0 0 0 円、皆様のお力添えをお願い致します。
- ・詳細については、「友の会」事務局、合掌苑までご連絡下さい。

## 編集後記

夏の終わりが近づき、少し肌寒さを感じるようになってきましたが、皆さまの体調はいかがでしょう。長かった夏休みもあっという間に過ぎ、子どもたちの新学期もスタートし学校生活も頑張っています。広報誌を作成するにあたり、あらためて行事を見直し文章にまとめてみると、それぞれの行事での一場面が鮮明に思い起こされ、また一つ季節を終えていくことに少し寂しさを抱きながら秋の到来を感じます。合掌苑では紙面でお知らせしたように、今年の夏も子どもたちにとって楽しい行事があり、それらの経験を通し色々な思い出ができました。これも日頃から苑を支えて下さっている皆様のお陰と感謝しております。

合掌苑だよりへのご意見・ご感想も随時お待ちしておりますので合掌苑ホームページのお問合せフォームか、Eメールよりご連絡いただければ幸いです。

季節の変わり目ですので、ご自愛ください。今後とも合掌苑をよろしく願い致します。